

**丹波篠山市立篠山東中学校 学習・生活に関する学力向上プラン**

本校では、中学3年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査ならびに丹波篠山市学力・生活習慣状況調査をもとに授業等の改善を行うため、本紙『学習・生活に関する学力向上プラン』を作成しました。学力の定着状況をご理解いただき、子どもたちの学習及び生活習慣の改善や学校の教育活動に対してご支援いただければありがたいと思います。

**全国学力・学習状況調査、丹波篠山市学力・生活習慣状況調査結果の概要**

- 国語科では、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」の問題をあわせ、全体的に大変良好な状況です。全問中で全国平均正答率を下回る解答はなく、国語に対する高い力を持っています。ただし、「自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く」の問題の正答率は、他問題と比較し若干低く、今後の課題としてその改善に取り組みます。
- 数学科では、「数と式」「図形」「関数」「データの活用」の4領域すべてにおいて全国平均正答率を上回る良好な状況であり、数学的な技能は身につけています。ただし、「図形」「関数」の正答率は他の領域と比べ全国平均との差が小さく、今後の課題として取り組みます。
- 理科では、「思考力、判断力、表現力等」の問題をはじめとして、平均正答率が全国を大きく上回り、大変良好な状況です。ただし、「気圧、気温、湿度、天気図」「力の働き」の問題の平均正答率は全国平均を下回り、今後の課題として取り組みます。
- 学習習慣・生活習慣等についての意識アンケートからは、特に、「自己認識」に関する項目の『家族のささえ』、「社会性」に関する項目の『社会参画』、「学級環境」に関する項目の『学級の絆』『いじめのサイン』において、良好な回答が見られました。これらは、学校と家庭・地域とが連携して子どもたちに働きかけてきた成果だと考えています。今後も、家庭でのサポートをよろしくお願いします。

**現在の課題および今後の学力向上方策**

- 国語科  
上述の通り、「自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く」力を補うために国語科をはじめとして、全教科において「なぜそのように考えるのか（考えたのか）」を明確にした発言（発表）をより習慣づけていきます。また、教師側の姿勢として、「問い返す」ことで、生徒の思考を掘り下げる授業づくりを目指します。
- 数学科  
「図形」では、「反例の意味を理解していること」についての正答率が全国平均値を下回っています。今後、命題や事柄が常に成り立つことを説明するだけでなく、常に成り立つとは限らないことも説明できるように、ペア学習やグループ学習を取り入れ、思考力・判断力・表現力が高まる授業づくりを目指します。また、「関数」では、「一次関数の変化の割合の意味を理解している」については、全国平均値と同じです。今後、直線だけでなく放物線についても変化の割合を学習する際には、ICTやグラフを利用し、視覚的に支援を行い、変化の割合の意味を復習し、理解を深められるような授業づくりを目指します。
- 理科  
「気圧、気温、湿度、天気図」については、実際の空の様子と観測したデータを関連付けて、天気の変化を解釈できるように、ICTを活用するなどして、グラフの読み取りの力の定着を図っていきます。「力の働き」についても、力の働きだけでなく力の合成・分解について学習する際には、小テストを行うなど定期的な復習する機会を設定し、定着を図っていきます。
- 『学習習慣・生活習慣等についての意識アンケート』  
特に、『学級の絆』において、良好な回答が見られました。修学旅行や球技大会などの企画・運営を通して、学級の絆を確かめ合うことができている。また、『いじめのサイン』を見逃さないなど、自他の人権を尊重した学校生活を送ろうとする意識が高まっています。  
毎日の生活や学習・学校行事の中で努力体験や成功体験を積み重ねながら、その中で感じた喜びや悔しさをクラスメイトに発信し、分かち合えることを目指していきます。そして、互いに支え合う集団の一員として、自己肯定感・自尊感情を高めていけるよう工夫していきたいと考えています。

**【保護者へのお知らせとお願い】**

本校では、今回の調査結果を生かして、お子様一人一人についての学習の在り方や生活習慣について、指導方法を検証し、取組を充実させていきます。

ご家庭におかれましても、子どもたちの家庭学習の在り方について今一度ご確認いただき、ご支援をよろしくお願いたします。3年生はこれから進路決定の時期を迎えます。進路についてはご家庭でもよく話し合ってください。子どもたちが目標を持って取り組むことができるようよろしくお願いたします。